



仏教保育

8
Aug.

伝えよう ^{いのち} 生命の尊さ ^{ほとけ} の心



増上寺大殿 (本堂)



安藤委員長



緑谷理事長



吉水先生→
森田先生↓



ほとけさまが見守るなかで、皆が燃えた！

第83回 夏期仏教保育講習会

平成27年7月22日・23日 / 大本山増上寺大殿 (本堂)

公益社団法人日本仏教保育協会（緑谷一雄理事長）は7月22日・23日の両日、東京仏教保育協会（安藤文隆委員長）の実施・ご協力のもと、「第83回夏期仏教保育講習会」を開催しました。今回の会場は、全国の浄土宗の宗務を統べる大本山増上寺の大殿（本堂）です。第83回目という長い歴史の中でも、ご本山の本堂が会場に使われたことはありません。今回が初めてのことで、今夏は相次ぐ台風の影響で豪雨・雷雨が各地を来襲、加えて列島は連日真夏日が続きました。開催当日も東京は35度を上回る酷暑となりましたが、北海道から九州まで150名

開講式

はじめに緑谷理事長の主唱で三帰依文斉唱。次いで物故者への追悼が行われたあと同理事長から、「まだ夏休みにはいつていない園もあると思います。また、この暑さのなか全国からお集まり頂いて嬉しく思います。このお堂の中の感じはどうですか？この本堂では法要は執り行われますが、講習会などに使われることはありません。今回は、増上寺の台下（住職）が当協会の名誉会長というご縁もあって特別に使わせて頂くことができました。知識を吸収し、保育の質を磨くことはもちろん大事ですが、このような環境の中でほとけさまを感じ取りながら研修することができるのは素

余の教諭・保育士が参加しました。開講前の「朝のコーラス」は今年も吉水千草先生（公財・全国青少年教化協議会研究員）のご指導で始まりました。ピアノ伴奏もお馴染みの森田真帆先生です。例年の明るい会場とは違って、大殿（本堂）は灯明と格子窓から差し込む木洩れ陽が明かりのすべてです。ほの暗い大殿に座す御仏の前で奏でる「四弘誓願」や「法の深山」のメロデーは、お堂に漂うお線香の香りとともに心の中に沁み入ってくるようでした。その余韻に包まれて二日間の夏期保育講習会の幕は開けられました。

晴らしいことだと思えます。園に帰られたら、この雰囲気をご一緒に伝えて欲しいと思います」と挨拶されました。続いて、安藤委員長から「こういう場所で講習会ができるのは素晴らしいことです。今回講習会を受ける先生方は、『ついでな』と思ってください。二日間ではあります、この素晴らしい環境の中で大いに栄養を吸収して保育に役立てて頂きたいと思えます」と激励の挨拶をされました。次いで、加藤昌康先生（浄土宗・淡島幼稚園）からは「心を表した儀式を子どもたちに伝えることも仏教保育の大切なことです。この環境にふれて今後活かして欲しい」と、祝辞が述べられました。

「仏教保育の話」

緑谷 一雄先生 (公社・日本仏教保育協会理事長／みどり幼稚園理事長)



毎朝、決まった時間に私の寺に来「拝む」ことについて、「見る」の謙て手を合わせているお婆さんを見た年中の男の子が「何してるの？」と先生に訊ねたそうです。「拝んでるのよ」と答えたのでしょう。その男の子が「拝むってなあ〜」と質問してきました。私は応えられませんでした。これまでも聞かれたことのない質問でしたが、「よい質問」だと思ひ、お昼には皆に話し本で調べました。

ある本の中に「調べました。」と締め括られました。

「先生は冒頭こう話されてから、日仏保発足の趣旨やその年の出来事から、大変な時代だったことをお話になられ、「仏教保育三綱領」に謳われている仏教保育の理念を説明。お経ではないので子どもたちと実践するということ。そして「生々」としての保育が仏教保育の基本です」

「仏教から生まれた和の文化」

生活の中の 仏教語をめぐって

千葉公慈先生 (駒沢女子大学人文学部日本文化教授／曹洞宗宝林寺住職)

ご本山の本堂でお話しできるのは誠に光栄です。一生に一度の経験となることでしょうか。

日本人の生活文化には、さまざまな異国の宗教や思想が取り込まれていきます。そこには「浄化」は異国のしきたりや文化が何気なく身近な生活の中に多く見られます。

「日本の文化は世界の博物館」



「館」と言われていますが、縄文時代の昔から日本では「手を洗う」習慣があります。この「手を洗う」というのは、世界の常識のそれとは異なります。「水を流して洗う」ことにより、宗教的な営みがあるのでは「浄化」す。つまり、「精神の浄化」です。

先生はこのように、仏教に由来する日常の習慣を紹介しながら「和の文化とは『やわらぎ』」だと、日本文化の心について語ってくださいました。

「でんしゃにのって」ももんちゃんとバルボンさんがやってきたとよたかずひこ先生 (絵本作家)



とよた先生は、「まだ字も読めない、本の選択もできない、そんな子どもたちに読み聞かせをしてください保育園・幼稚園の先生方の存在はありがたいですし、とても大切なことだと思っています。」こう述べられたあと、「作家賞を受賞された作品で、シリーズ化は自分の外側を吸い取っていき「ト書きどおり」と創作へのアイディアの裏側にあるお話にふれられました。

「ごろごろちゃん」は先生

「いのちを大切に保育のために」

猪熊弘子先生 (ジャーナリスト)

猪熊先生は、子どもたちをめぐるとしての眼で数多く取材され、「いのちを守る大切さ」をメディアで報道してこられました。保育園で亡くなった事件の取材をもとに書かれた『死を招いた保育』は、保育文獻賞を受賞されています。

本講座では、そうした悲しい事件・事故の中からいくつかを紹介し、どうすれば安全に保育できるのか、実際の事例検証を踏まえてお話



多くの事故は保育室の中で起こっている。そして静かな時間の流れるなかで多発していると言います。取り返しのつかないケガなどの事故、いのちを落とした大きな事件、そのどれもがほんのちよつとした時間の隙間で起きたケースが多いとのこと。「事故を引き起こした先生の人生も悲惨です」と、先生の表情は曇ります。安全のための「共有」ができるチームワーク、保護者・地域とのネットワーク作り等々、「いのちを守る」提言をされました。

名簿の記載事項に変更のある方(園)、お知らせください!

昨年配布しました『公益社団法人 日本仏教保育協会 社員名簿』に記載された園長、理事長のお名前や、認定こども園になられて園名が変更された園がありましたら速やかにご連絡ください。本部事務局にて整理し、郵送

物などに誤りのないようにしたいと思います。何卒ご協力くださいますようお願い致します。

尚、ご連絡方法はFAXまたはメールでお願いします。

FAX 03-3431-1519

メールアドレス buppo@cello.ocn.ne.jp

公益社団法人日本仏教保育協会 本部事務局



「仏教保育のこころ」

金子聡秀先生（公社・日本仏教保育協会監事／永安寺学園幼稚園園長）



私の園で新しい事務職員をひとり採用しました。前職は病院勤めだったのですが、病院で挨拶をしても返礼の無い人がいたそうです。その人曰く、「挨拶の仕方を教えてもらわなかった」。立派な大人に挨拶の仕方まで教えなければならぬものか、と考えさせられました。挨拶は「他人を思いやる気持ちの現れ」だと思います。「私には関係ない」という人は、川籠之介の短編『蜘蛛の糸』の話にふれていきました。「お互いの違いがわかり、その違いを認め合って一人ひとりが大切な存在だということに自覚する、そんな人になるよう育てて欲しい」と願っています。

「子どもが育ち、育ちあう遊び」

～素朴で豊かな手遊び・わらべうた・おはなし遊びのいろいろ～

近藤千春先生（日本児童教育専門学校講師／児童文化実践講師）



近藤先生は元幼稚園に勤められた経験を持ち、保育士や幼稚園教諭を目指す専門学校の講師も勤められ、語り・読み聞かせで知られています。「時代がどう変わろうと、人が成長していく道筋は変わりません。赤ちゃんや子どもが成長していくためには、身近な大人からの『笑いかけ』『語りかけ』『うたいかけ』が必要です。壇上に上がる早々にこやかな笑顔で楽しそうにこのように語り始めました。保育現場では年齢や成長段階に合わせて工夫することが大切です。先生はこう述べてから伝承遊びを中心に、歌に合わせてのふれあい遊び、「ねことねずみの大レース」というイギリスの昔話など、保育に活かせるたくさん「手遊び」「語り遊び」を指導して下さいました。

「造形活動における"見立て"と"仕立て"の構造」

鮫島良一先生（鶴見大学短期大学部保育科講師／彫刻家／明福寺ルンビニー学園造形講師）



「子どもは大人よりも想像力に富んでいます。身の回りのモノを他の何かに「見立て」て遊びます。更に手を加えて自分がイメージしたものに近づけようとあれこれ工夫しながら形に「仕立て」ていきます。先生は「見立て」と「仕立て」の構造を支援していくのが造形活動を支えることに繋がるのだと説か

「子どものこころを聴くこと」

神仁先生（公財・全国青少年教化協議会主幹／認定NPO法人チャイルドライン支援センター代表理事）



「いただきます」「ごちそうさま」す。年間およそ70万コールもの電「ありがたい」、この三つの言葉を話相談があるそうです。日本の子言える幼児の教育は一応できてどもたちは「自己肯定感」が低いと考えています。この言葉はと言われています。その自己肯定「仏教用語」ですが、「すべてのも感を育むためには「子どもの心をの命を頂いて私たちは生かされ聴く」こと。チャイルドラインは、ていることへの感謝として手を合子どもの心を聴く大切なラインだわせてるのです。」先生の講座はそうです。子どもたちが悩むいるこんなお話から始まりました。んなケースをお話して下さいまし

神先生が代表理事を務めるチャイルドセンターには、子どもたちから多くの相談が寄せられています。

閉講式

「二日間、ご苦労様でした。本堂での講習はどうでしたか？ 仏さまを感じながら厳かな気持ちで受講されたと思います。ここを会場にするの最初は最後でした。帰られたら感じたことをお伝えします。ほとけの子を育てて下さる保育に力いっぱい取り組んでまいります。」と、語り組んでまいります。そのあと「仏教保育の歌」を斉唱して講習会に二日の幕を閉じました。

平成26年度 収支計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

I、収入の部

単位:円

大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	0	0	
特定資産運用益	特定資産利息収入(公1)		385,000	83,194	-301,806	
		社団基金利息収入	200,000	68,323	-131,677	元金45,355,000円
		菩提樹学園利息収入	180,000	8,991	-171,009	元金32,100,000円
		持田基金利息収入	1,000	640	-360	元金800,000円
		古屋基金利息収入	4,000	5,240	1,240	元金5,400,000円
受取入会金	入会金収入(公1)	入会金収入	10,000	5,000	-5,000	1園
受取会費	会費収入	会費収入	25,300,000	25,622,000	322,000	23,000×1,100施設 複数年分の振込あり
事業収益			23,316,450	19,719,122	-3,597,328	
	出版収入(公1)		14,010,000	11,929,370	-2,080,630	
		こどものくに収入	1,530,000	780,226	-749,774	51,000×2.50×12
		ほとけの子収入	5,280,000	4,789,744	-490,256	40,000×11×12
		仏教保育カリキュラム	7,200,000	6,359,400	-840,600	購読料 1200部
	刊行物監修収入(公1)		2,229,650	2,054,650	-175,000	
		こどものくに編集	280,000	280,000	0	
		出席カード印税	349,650	349,650	0	フルベム仏保版出席カード
		保育教材のやり取り	1,600,000	1,425,000	-175,000	夏の絵本、合掌人形、上製本等
		その他編監修料	0	0	0	
	受講料収入(公1)	中央講習会受講料	1,576,800	1,931,672	354,872	146名×10,800円、 寄付・お弁当を含む
	生命尊重募金収入(公1)	生命尊重募金	4,500,000	3,803,430	-696,570	
	義援金収入(公1)	義援金	1,000,000	0	-1,000,000	
受取補助金等	助成金収入(公1)	年度・制度対策助成金	4,000,000	3,420,000	-580,000	宗派・本山よりの助成金
受取寄付金	寄付金収入(公1)	寄付金収入	550,000	550,000	0	鈴木出版25 保育教材6社30
雑収入			7,605,000	7,030,999	-574,001	
	運用利息収入(公1)		5,000	5,478	478	
	協賛金収入(公1)		1,000,000	1,000,000	0	協賛金
	広告収入(公1)		5,000,000	3,505,380	-1,494,620	仏カリ他広告収入
	その他雑収入(法)		1,600,000	2,520,141	920,141	5月・1月懇親会費 関西地区連絡協議会懇親会費 養成機関連絡協議会懇親会費
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	0	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	119,419,277	119,419,277	0	
		合計	180,585,727	175,849,592	-4,736,135	

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	0	0	事業のための臨時雇
	調査研究費	研究運営費	200,000	0	-200,000	
	教育研究奨励費		690,000	650,892	-39,108	
		教育研究会補助	150,000	150,000	0	東仏保ゼミ補助
		古屋・持田賞	200,000	200,000	0	全国大会開催年
		仏教保育功労賞	50,000	38,066	-11,934	賞状、記念品
		研究発表指定園	240,000	240,000	0	全国大会開催年
		仏教保育精励賞	50,000	22,826	-27,174	全国大会開催年
	菩提樹学園充実		500,000	491,763	-8,237	
		学園視察派遣旅費	300,000	300,000	0	旅費補助
		同上資料代	200,000	191,763	-8,237	学園おみやげ(お菓子など)、スツール、千葉義坦先生寄付を含む
	大会講習会開催費		7,300,000	6,598,340	-701,660	
		全国大会開催費	3,800,000	3,871,627	71,627	本部30万、支部へ350万
		講習会開催費	2,050,000	1,791,378	-258,622	関西地区研修会・夏期講習会 夏期講習会案内印刷
		仏教保育研修会費	450,000	375,335	-74,665	
		支部講習会補助	1,000,000	560,000	-440,000	支部、ブロックで行う講習会補助



大科目	中科目	小科目	補正予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備考	
事業費	刊行・出版費		27,500,000	26,150,498	-1,349,502		
		仏教保育出版費	9,000,000	8,992,500	-7,500	約75万×12	
		ほとけの子出版費	1,500,000	1,601,617	101,617	原稿、制作費	
		紀要出版補助費	0	500,000	500,000	全国大会開催年	
		月刊仏カリ費	17,000,000	15,056,381	-1,943,619	製作、発送費	
	各種委員会委託		1,180,000	1,013,411	-166,589		
		仏カリ編集委員会	200,000	33,411	-166,589		
		こどものくに編集委員会	280,000	280,000	0	委員会へ	
		ほとけの子編集委員会	400,000	400,000	0	委員会へ	
		教材開発委員会	300,000	300,000	0	委員会へ 27.4.9支払い	
	助成金支出		4,300,000	4,517,936	217,936		
		支部助成金	2,500,000	2,561,050	61,050	支部へ会費10%還元(期日まで納入の場合は+5%還元)	
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
		各種団体提携費	800,000	956,886	156,886	宗派保連、保育団体・ 関西地区連絡協議会	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		4,300,000	1,834,844	-2,465,156		
		菩提樹学園助成	1,000,000	1,000,000	0	学園運営費 国際仏教興隆協会へ	
		義援金	1,000,000	0	-1,000,000		
		印刷作成費	1,500,000	455,864	-1,044,136	ポスター、イノチシール、 チラシ 写真ニュース含む	
		募経費	800,000	378,980	-421,020	郵便振替の手数料	
	各種対策費		2,300,000	1,362,158	-937,842		
		組織強化費	1,000,000	560,000	-440,000	支部強化経費、支部事業助 成、福島支部設立助成金	
		制度対策費	1,000,000	529,600	-470,400	懇話会、顧問弁護士	
		養成機関連絡費	300,000	272,558	-27,442	養成機関連絡協議会	
	事業雑費		5,200,000	5,169,468	-30,532		
		ホームページ運営費	700,000	670,888	-29,112		
		事業雑費	500,000	498,580	-1,420		
		名簿作成費	4,000,000	4,000,000	0		
管理費	会議運営費		5,050,000	4,457,790	-592,210		
		理事運営審議委員会 開催費	2,800,000	2,847,464	47,464	2回開催交通費 1月新年懇親会	
		総会運営費	1,500,000	1,414,809	-85,191	総会及び5月懇親会 総会案内印刷	
		支部長会・参事会開催費	500,000	0	-500,000	将来検討委員会	
		事務局運営費	250,000	195,517	-54,483		
	給料手当		4,940,000	4,514,330	-425,670		
		給料・諸手当	3,700,000	3,401,980	-298,020	給与+通勤交通費 非常勤分を省く	
		賞与	940,000	916,000	-24,000	4ヶ月	
		法定福利費	300,000	196,350	-103,650	健保、年金掛金補助、 労働保険	
	役務費		3,620,000	2,222,282	-1,397,718		
		旅費交通費	420,000	218,810	-201,190	交通費	
		通信運搬費	1,500,000	1,128,483	-371,517	郵券、電話等通信費	
		印刷製本費	300,000	0	-300,000	封筒等印刷全般	
		什器備品費	100,000	4,712	-95,288	事務所備品	
		消耗品費	200,000	107,999	-92,001	文具等	
		借料損料	600,000	475,778	-124,222	事務機器リース、ポ ラニングコスト	
		租税公課	500,000	286,500	-213,500	消費税等	
	事務所費		2,810,000	2,799,818	-10,182		
		貸借料	2,160,000	2,160,000	0	事務所賃借料18万/月	
		光熱水費	650,000	639,818	-10,182	光熱水費負担金	
	諸謝金	慶弔費	400,000	91,950	-308,050		
	事務雑費	管理雑費	500,000	262,800	-237,200		
	特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	600,000	601,116	1,116	
	予備費	予備費	予備費	5,000,000	0	-5,000,000	
	当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	104,195,727	113,110,196	8,914,469	
			合計	180,585,727	175,849,592	-4,736,135	

平成26年度 収支計算書 組替表

I、収入の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目(会計部門)
基本財産運用益	基本財産利息収入		0	
特定資産運用益	特定資産利息収入(公1)		83,194	
		社団基金利息収入	68,323	特定資産利息収入(公1)
		菩提樹学園利息収入	8,991	同上
		持田基金利息収入	640	同上
		古屋基金利息収入	5,240	同上
受取入会金	入会金収入(公1)	入会金収入	5,000	入会金収入(公1)
受取会費	会費収入	会費収入	25,622,000	会費収入(50%を公1、50%を法)
事業収益			19,719,122	
	出版収入(公1)		11,929,370	
		こどものくに収入	780,226	出版収入(公1)
		ほとけの子収入	4,789,744	同上
		仏教保育カリキュラム	6,359,400	同上
	刊行物監修収入(公1)		2,054,650	
		こどものくに編集	280,000	刊行物監修収入(公1)
		出席カード印税	349,650	同上
		保育教材ロイヤリティ	1,425,000	同上
		その他編監修料	0	
	受講料収入(公1)	中央講習会受講料	1,931,672	受講料収入(公1)
	生命尊重募金収入(公1)	生命尊重募金	3,803,430	生命尊重募金収入(公1)
	義援金収入(公1)	義援金	0	義援金収入(公1)
受取補助金等	助成金収入(公1)	年度・制度対策助成金	3,420,000	助成金収入(公1)
受取寄付金	寄付金収入(公1)	寄付金収入	550,000	寄付金収入(公1)
雑収入	雑収入		7,030,999	
		運用利息収入(公1)	5,478	運用利息収入(公1)
		協賛金収入(公1)	1,000,000	協賛金収入(公1)
		広告収入(公1)	3,505,380	広告収入(公1)
		その他の雑収入(法)	2,520,141	その他の雑収入(法)
特定預金取崩	退職給与引当金	取崩収入	0	
前期繰越	繰越収支差額	前期繰越金	119,419,277	
		合計	175,849,592	

II、支出の部

大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目
事業費	人件費	臨時雇賃金等	0	
	調査研究費	研究運営費	0	印刷製本費
	教育研究奨励費		650,892	
		教育研究会補助	150,000	支払助成金
		古屋・持田賞	200,000	支払助成金
		仏教保育功労賞	38,066	消耗品費
		研究発表指定園	240,000	支払助成金
		仏教保育精励賞	22,826	消耗品費
	菩提樹学園充実		491,763	
		学園視察派遣旅費	300,000	旅費交通費
		同上資料代	191,763	助成金10消耗品費9
	大会講習会開催費		6,598,340	
		全国大会開催費	3,871,627	支払助成金
		講習会開催費	1,791,378	支払助成金88諸謝金64印刷製本費26
		仏教保育研修会費	375,335	諸謝金16印刷製本費20
		支部講習会補助	560,000	支払助成金



大科目	中科目	小科目	決算額	組替後対応科目	
事業費	刊行・出版費		26,150,498		
		仏教保育出版費	8,992,500	印刷製本費	
		ほとけの子出版費	1,601,617	印刷製本費	
		紀要出版補助費	500,000	支払助成金	
		月刊仏カリ費	15,056,381	印刷製本費	
	各種委員会委託		1,013,411		
		仏カリ編集委員会	33,411	委託費	
		こどものくに編集委員会	280,000	委託費	
		ほとけの子編集委員会	400,000	委託費	
		教材開発委員会	300,000	委託費	
	助成金支出		4,517,936		
		支部助成金	2,561,050	支払助成金	
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金100	
		各種団体提携費	956,886	会議費10旅費交通費27支払助成金41諸謝費16	
	社会貢献・国際交流 (生命尊重)		1,834,844		
		菩提樹学園助成	1,000,000	支払助成金100	
		義援金	0	支払寄附金	
		印刷作成費	455,864	印刷製本費	
		募金経費	378,980	消耗品費	
	各種対策費		1,362,158		
		組織強化費	560,000	諸謝費6助成金50	
		制度対策費	529,600	諸謝金	
		養成機関連絡費	272,558	支払助成金19諸謝金5会議費2	
事業雑費		5,169,468			
	ホームページ運営費	670,888	委託費60通信費7		
	事業雑費	498,580	委託費22消耗品費22事業雑費5		
	名簿作成費	4,000,000	印刷製本費400		
管理費	会議運営費		4,457,790		
		理事運営審議委員会開催費	2,847,464	旅費交通費142会議費148	
		総会運営費	1,414,809	会議費	
		支部長会・参務会開催費	0	会議費	
		事務局運営費	195,517	会議費	
	給料手当		4,514,330		
		給料・諸手当	3,401,980	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
		賞与	916,000	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
		法定福利費	196,350	給料手当(公1:法=8:2で按分)	
	役務費		2,222,282		
		旅費交通費	218,810	旅費交通費	
		通信運搬費	1,128,483	通信運搬費	
		印刷製本費	0	印刷製本費	
		什器備品費	4,712	消耗什器備品費	
		消耗品費	107,999	消耗品費	
		借料損料	475,778	賃借料(公1:法=8:2で按分)	
		租税公課	286,500	租税公課	
	事務所費		2,799,818		
		賃借料	2,160,000	賃借料(公1:法=8:2で按分)	
		光熱水費	639,818	光熱水料費(公1:法=8:2で按分)	
	諸謝金	慶弔費	91,950	諸謝金	
	事務雑費	管理雑費	262,800	委託費26	
	社団基金積増	社団基金積増	社団基金積増	0	
特定預金支出	退職給与引当金	退職給与引当金繰入	601,116	退職給付費用(公1:法=8:2で按分)	
予備費	予備費	予備費	0		
当期収支差額	当期収支差額	差額繰越金	113,110,196		
		合計	175,849,592		

「第34回全国仏教保育福島大会」打合せ会

平成 27 年 7 月 22 日 / 増上寺大殿会議室

平成 28 年 7 月 30 日 (土) ~ 31 日 (日) 開催予定の「第 34 回全国仏教保育福島大会」の打ち合せ会が 7 月 22 日、増上寺大殿 (本堂) 1 階の会議室で行われました。

吉岡棟憲大会実行委員長 (福島県仏教保育協会会長) から、準備状況の報告並びに協力要請事項などを記した書類を日仏保・緑谷一雄理事長、高山久照副理事長はじめ、同席の常任理事らに配布・説明のあと意見交換が行われました。その概要は以下の通りです。

●第34回全国仏教保育福島大会実施を受け入れるについて

組織力は脆弱 (14 園の加盟) であり、支部結成 2 年と日も浅いだけに一抹の不安はあるが、加盟園は大会開催への意欲に満ちている。しかし、自力での運営は無理であることも自覚しており、日仏保本部からの全面的な指導、並びに近県 (宮城・栃木・茨城) からの格別な支援・協力をお願いすることを前提に準備を進めることで一致したこと。

●打ち合せのポイント

- 大会開催場所は、県随一の規模を誇る『ホテルハマツ』(郡山市) で進めている。
- 移動等の時間などを考慮し、全体会・分科会ともに同ホテルを使用したい。
- 分科会は 12 講座とし、本部 3 分科会、近県 3 分科会を受け持つて頂きたい。
- 記念講演の人選、予算に関する事、講師の選任、発表園の決定と依頼、参加人数の検討と申し込み締め切り等々。
- 2 時間余の意見交換が行われ、福島大会への出来得る限りの支援・協力を約すと共に、分科会やホテル側との更なる折衝について綿密な打ち合わせを交わしました。



事務局日誌

- 7 / 1 「仏カリ」「仏教保育」編集会議
 - 事務局会議
 - 7 / 13 「ほとけの子」企画会議
 - 7 / 16 こどものくに「チューリップ版」編集会議
 - 7 / 22 ~ 23 「第 83 回夏期仏教保育講習会」
- (大本山増上寺大殿・本堂)

編集後記

■夏休みに入ると全国で研修会や講習会が開かれますが、先生たちにとっては多忙な夏となります。7 月 22・23 日、当協会も増上寺において「夏期仏教保育講習会」を開催。この講習会は年に一度の行事で、今回 83 回目の歴史を刻みました。会場は開催史上初めての増上寺本殿 (本堂) で行われ、御仏の座すご本堂での講習は、講師も受講者も忘れられない思い出になったことでしょう。■下の子を出産して育児休業をとった場合、保育園に通っていた上の子は退園させるということを決めた自治体を、この決定は違法だとして保護者が退園差し止めを求める訴訟を起こしました。自治体では育児後は希望する園に入れるよう「保証する」としていますが、賛否の声が飛び交っています。難しい問題ですよねえ。。。 (O・I)

公益社団法人 日本仏教保育協会
〒105-0011 東京都港区芝公園 4-7-4
ホームページ <http://www.buppo.com/>
電話 03(3431)7475・FAX03(3431)1519
発行人 緑谷一雄 編集人 五島 満
毎月 1 回 1 日発行 (1 部 315 円)



仏教保育綱領

慈心不殺 生命尊重の保育を行なおう
 仏道成就 正しきを見て絶えず進む保育を行なおう
 正業精進 よき社会人をつくる保育を行なおう

紙芝居 おしやかさま 全 4 巻

○おたんじょう (12 場面) ○四つの門 (13 場面) ○おさとり (16 場面) ○ねはん (12 場面)

セット定価 本体 ¥20,000 (8% 税込 ¥21,600) ※分売不可

脚本・絵 / 諸橋精光 画面 38.2 x 26.5 cm 豪華化粧箱入り

保育現場や布教活動の場で幅広くご利用いただけるよう、おしやかさまのご生涯を 4 巻に分け、幼い子どもでも集中力を保てる適度な場面数で仕立てました。



ご注文 お問い合わせ **すずき出版**

鈴木出版株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-4-21 ☎03-3945-6612 (保育営業部) FAX03-3945-6616 <http://www.suzuki-syuppan.co.jp/>